



新たな夢や目標に向けて！

希望に満ちた平成30年(2018年)がスタートしました。

1月8日(月)に「始業式」を行い、子供たちは元気に3学期のスタートを切りました。始業式では、新しい年がよい年であり、子供たちが描いている夢や目標が叶うように「一年の計は元旦にあり」ということわざを紹介しました。そして、次のような話をしました。

私の好きなスポーツ選手に「イチロー選手」がいます。野球を通して日本でもアメリカでも大活躍しているのは、みなさんも知っていることでしょう。

スポーツは「心・技・体」が大事だと言われます。野球では、バッティングなどの「技(技術)」が高くないと勝てません。それから、しっかり戦える「体(体力)」がないと最後まで素晴らしいプレーをすることができません。そして「心(メンタル面)」が弱いと、ここぞというときにプレッシャーに負けてしまいます。

イチロー選手は、この「技と体と心」がしっかりしています。それに、もう一つ大切にしていることがあります。それは、「生活」です。よい結果を出す選手は、生活面もきちんとしています。「物を大切にする」「明るい挨拶をする」「感謝の気持ちをもって生活する」など、よりよい生活習慣が身につけているのです。イチロー選手は、試合や練習を終えると、すぐにスパイクを磨き、オイルを使ってグローブの手入れをするそうです。用具に、感謝を込めて向き合っています。

「何気ないけれども大切なことを、毎日続ける」ことが大事なのです。一度このことを続ける習慣ができあがると、その習慣はずっと続きます。そして、続けられ続けるほどやめたくないという気持ちになります。さらに続けていくと自信になります。このようにして生活習慣で育んだ自信ある強い心は、スポーツに限らず、学校の勉強や活動にも粘り強さとなり、自然とよい結果につながっていくのです。

今日は、ロッテルダム日本人学校の元旦、新しい年の始まりの日です。今年、目標に向けてがんばるためにも、自分の足元の生活を見つめ直し、新たな学校生活をスタートさせましょう。

子供たちが、夢や目標に近づけるように、今年も教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいきたいと思っています。3学期もこれまで同様、関係機関、保護者の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。



ミチルスクールとの交流に向けて 小学部5・6年、中学部

1月31日(水)、小学5年生以上の児童生徒でミチルスクールを訪問し、交流学習を行います。これまでの交流学習で培ってきたことを生かし、「Warm Heart」を実践することを目指して取り組んでいきます。今回の交流学習では、小学6年生がリーダーになり、司会進行や活動の説明を担当します。子どもたち相互の自己紹介とウォーミングアップを行い、ゲームや折り紙などの活動を通して、ミチルスクールの子供たちと交流します。事前にオランダ語や英語の学習も行います。一緒に楽しい時間を持ち、温かい交流ができるように、みんなで準備を進めていきます。



水泳学習 小学部1～4年生

現地理解の一つとして実施している水泳教室が、今年も始まりました。日本もオランダも、水辺が身近にあることから、学校教育において水泳が必修となっています。しかし、その目標は異なっていて、日本は正しい泳法でクロールや平泳ぎが泳げることを目標としているのに対し、オランダは水難事故から命を守ることを目標としています。どちらがいいということではなく、安全に楽しく水辺・水中活動を行うためには、どちらも大切です。水泳教室を通して、水難事故から命を守る力を身につけることはもちろん、水中活動のおもしろさも存分に味わってほしいです。



講演会～マラリアについて～

1月11日(木)2時間目、ライデン大学メディカルセンターでマラリア研究をされている宮崎真也さんをお招きして講演会を行いました。宮崎さんがどのように研究されているか、マラリア研究者としての道を歩むきっかけなどについてもお話をいただきました。「今、勉強することは、将来の可能性を広げる」との宮崎さんの言葉に多くの児童生徒が、今勉強することの意味を見出してくれたのではないのでしょうか。



～児童生徒の感想～

- ・僕は、マラリアのことを全然知らなかったのですが、宮崎さんのおかげでマラリアについて知ることができました。暑い所にマラリアをもつ蚊がなぜいるのか、不思議に思いました。僕も実験に興味をもちました。
- ・私は、宮崎さんがマラリアについて6年近く研究をしているのが、すごいと思いました。宮崎さんは「大変なこともあるけれど楽しい。」と言っていました。好きなことを長く続けられるのはいいことだと思います。
- ・日本やオランダなどの先進国の人々がおいしい食事を食べ、温かい布団で寝ることができる恵まれた環境の中、途上国ではまだまだ当たり前前に生活が送れない現状であることを改めて知りました。一番驚いたことは、主なマラリアの感染者であるアフリカの人々は、マラリアにかかるという事を当たり前と思っていたことです。これが、マラリアにかかる要因の一つであると宮崎さんはおっしゃっていました。僕も現地の人たちの意識で、もう少しマラリアの感染者は減るのではないかと思います。

【2月の予定】

- 1日(木) 全校集会
ふれあいタイム
- 2日(金) 小学部豆まき
- 4日(日) 漢字検定
- 6日(火) 日本文化紹介(AISR)
- 7日(水) 水泳教室(小1～4)
- 8日(木) 航空教室
- 14日(水) ふれあいランチ
- 21日(水) 中学部学年末テスト①
- 22日(木) 中学部学年末テスト②
委員会

